

事例10 動物とのふれあい
 小林市立野尻小学校、清武せいりゅう支援学校、他46校参加

取組内容 動物愛護センターと連携した取組

動物愛護センターでは、モデル校、協力校を指定し、獣医師や専門の先生が授業を行っています。保護されている動物とのふれあいや、いのちを守り・育て・つなぐための動物への関わり方や飼い主の責任を学ぶことを通して、いのちの大切さについて考えます。



野尻小学校での授業の様子
 教育プログラム(2時間制)



動物愛護センターでの動物とのふれあいの様子

センターのかわいいモデル犬等とふれあうことができます♪

第1次「人と動物のつながりといのち」

人と動物のつながりを整理し、動物が人の生活に潤いを与える不可欠な存在になっていることやかけがえのない「いのち」の営みを実感させ、生命を尊重する心情を培う。

【学習内容】

- 動物と生活環境
- 人と動物のつながり
- 生きていること
- いのちの営み
- いのちのつながり

第2次「いのちを育て・つなぐ」

動物にも心があり、それぞれに適した世話が必要である。「いのち」を守り・育て・つなぐための動物へのかかわり方を飼い主の責任を明確にし、共生への理解を深める。

【学習内容】

- 動物のこころ
- 動物とのかかわり方
- 家庭・学校・野外でできること



本年度は、中学校や高等学校、特別支援学校との連携もありました。動物愛護センターと連携したいのちの教育では3つの型で取組を支援しています。お気軽に動物愛護センターまで御相談ください。(TEL: 0985-84-2600)

- ①モデル校(動物愛護センター施設見学を含めた授業支援)
- ②協力校(動物愛護センターの職員派遣による授業支援)
- ③教材貸出校(必要に応じて事前講習支援)

その他の事例

- ・毎月1回、年間12回、計画的にいのちの大切さについて考える機会を設けている取組
- ・全校一斉で、いのちの大切さについて考える道徳を実施する取組
- ・水難事故を防ぐための着衣での水泳指導の取組
- ・いのちをテーマにした俳句や川柳を制作することで、いのちの大切さについて考える取組
- ・生命誕生のしくみからいのちの大切さについて考える取組
- ・食について考える授業を通して、いのちの大切さについて考える取組(栄養教諭とのTT)
- ・ころろについて考える授業を通して、いのちの大切さについて考える取組(養護教諭とのTT)
- ・通学路や校区内の危険な場所について調べ、いのちを守る技能を身に付ける取組
- ・通信を利用して、家庭や地域においてもいのちについて考える機会を設けている取組

県内全学校の取組から～児童生徒の感想～

- 小学校、小学部**
- 自分のいのちは、みんなのたからものなんだなと思った。
 - 生きていることに感謝したい。
 - 自分のいのちだけではなく、友だちや家族のいのちも大切にしたい。
 - 授業中涙が出てきました。いのちを大切にします。
 - 生きているっていいなと感じる。だからそんな時間を大切にしたい。
- 中学校、中学部**
- 一人一人、ひとつひとつ、全部のいのちを大切にしたい。
 - 奇跡のようないのちを無駄にしないように社会のために活動したい。
 - 失われたいのちを惜しむ心も、新しいいのちの誕生を喜び心も共に大切にしていきたい。
 - いのちの価値は世界中の誰もが同じで、価値のないいのちは絶対はないと思った。
 - 自分らしい生き方を、自分のたった一つのいのちを大切に過ごしていきたい。
- 高等学校、高等部**
- いのちとは生き方なのだと実感できた。
 - 自分が思っている以上に自分のことを思ってくれている人がいるということを知った。
 - 人権を守ることがいのちを守ることにつながる。
 - 当たり前で生きていることが、こんなにも幸せなことなんだと改めて感じた。
 - いのちある限り責任を背負って生きていこうと思った。

令和3年3月 宮崎県教育委員会 人権同和教育課
 宮崎県福祉保健部 衛生管理課・宮崎県動物愛護センター

「宮崎県いのちの教育週間」～令和2年度版～

7月1日から7日は「宮崎県いのちの教育週間」です!



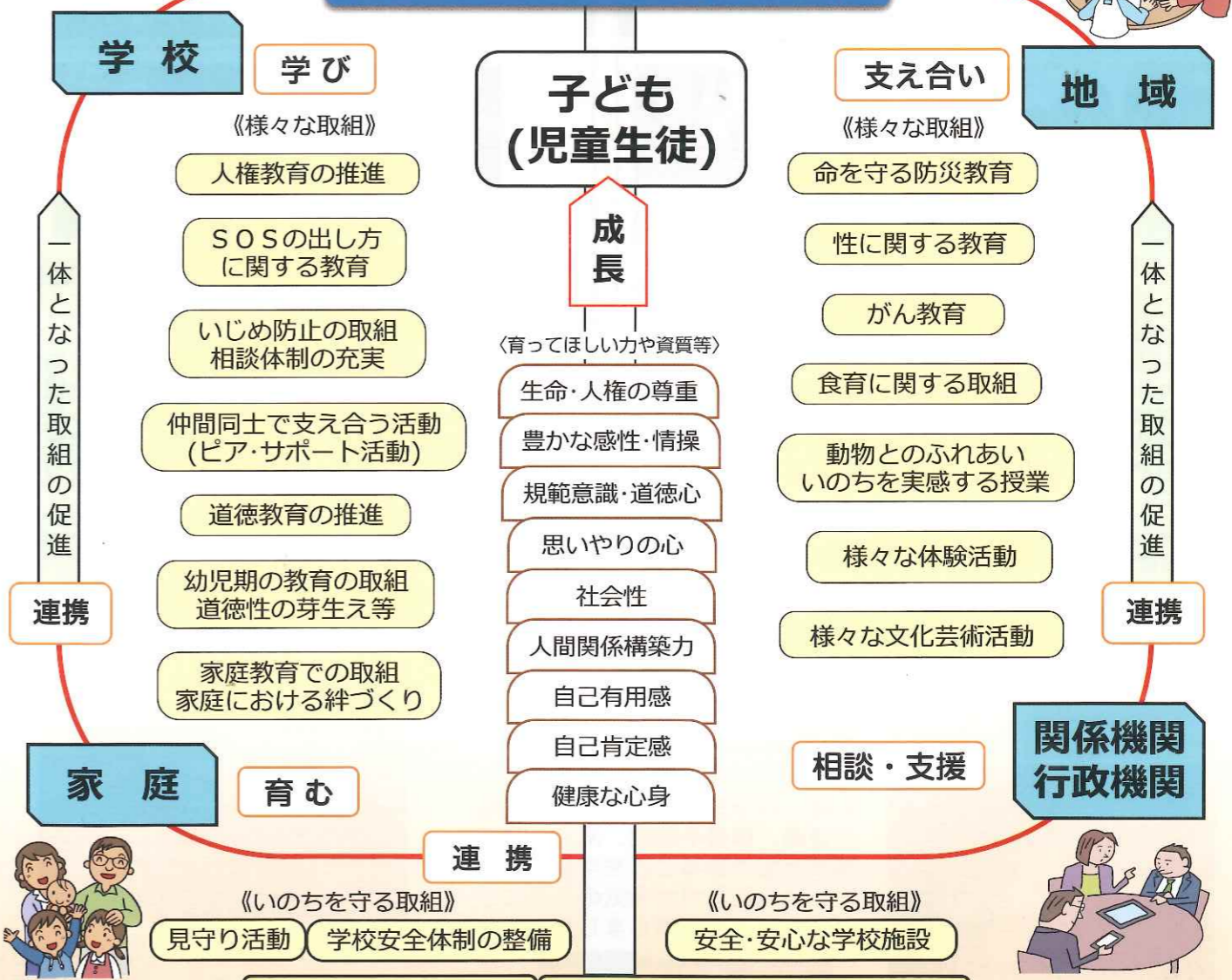
夏休み明けに子どもたちが元気に、そして笑顔で登校できるよう、夏休み前の7月1日から7日を「宮崎県いのちの教育週間」と設定しました。各学校で、この週を中心に「いのちの教育」を重点的に行うことで、県下一斉に「いのちの大切さ」について考える機会としました。

目指す子ども像

- 生まれてきてよかったと思い、いのちにかかわるまわりの人・ものに感謝する子ども
- 自分のいのちを大切に、いのちいっぱい生きる子ども
- いのちがつながっていることを実感する子ども

学校・家庭・地域・関係機関等が一体となり、いのちを大切に教育を推進

自分や他の人のかけがえのない「いのち」を大切に育てる子どもの育成



子どもたちの現状 子どもたちを取り巻く現状

- | | | | | |
|--------------|-------------|--------------|-------------|------------|
| 子育てや家庭教育の悩み | 自己肯定感の低い子ども | 子どもたちにかかわる事件 | いじめ ネットいじめ | 不登校 心の悩み |
| 地域とのつながりの希薄化 | 人間関係を築く力が弱い | 子どもが犠牲となる事故 | 規範意識やモラルの低下 | 健康問題 生活の乱れ |

事例1 いじめ防止の取組
宮崎市立宮崎中学校



各学校で、生徒が主体的に活動する取組が増えてきています。



生徒主体による活動

取組内容

校内放送を活用し、全校フレンドシップ委員長が「いのちの教育週間」の意義を説明し、全校生徒で「宮中いじめ撲滅宣言」を唱和しました。いのちの教育週間にあわせ、フレンドシップ委員は、のぼりを掲げ、あいさつ運動を行いました。また、期間中の昼休みを利用して、フレンドシップ委員と学年職員が学年の子どもたちの様子について話し合う場を設けました。

事例3 生き物とのふれあい
木城町立木城小学校



ウナギとのふれあい ヤマトウガニとのふれあい

いのちを実感する授業

取組内容

小丸川漁協との連携で、1年生が稚魚とのふれあい体験学習を行いました。うなぎやカニなどにふれて、観察した後、川に放流しました。いのちの大切さや自然との共生について考える機会になりました。

この他、生物や植物を育てることを通して、いのちの大切さについて考える取組がありました。



事例5 がん教育
高千穂町立上野小学校

がん教育



取組内容

中学年では、健康に過ごすためには、バランスのよい食事、適切な運動、休養や睡眠、清潔、環境等が大切であることを学習し、望ましい生活習慣が病気の予防につながることを学習しました。



低学年では、給食に使われている食材を「赤」「黄」「緑」の食品に分けて栄養バランスについて学習し、バランスよく食べることが、病気の予防につながり、健康に良いことを学習しました。

事例2 合同避難訓練
宮崎市立久峰中学校、佐土原高等学校



いのちを守る防災教育

取組内容

南海トラフ巨大地震に伴う津波を想定した中高合同の避難訓練を行いました。中学生は、隣接する佐土原高等学校の高台のグラウンドに津波到着予想時間内に移動する訓練を行い、高校生は、時刻などを事前に知らせずに、緊急地震速報を鳴らし、本番さながらの訓練を実施することで、防災意識を高める取組としました。



いのちを守る避難場所や避難経路を確認しておくことは大切です。

事例4 文化芸術活動
日南市立吾田小学校



全校で取り組む生命尊重に関する楽曲の歌唱

取組内容

理科「生命の誕生」や道徳「生命尊重」とも関連させた取組として、いのちの教育週間に、全校で月の歌を歌詞の意味を考えながら、歌詞に合った表現を工夫して各学級で歌いました。各学年の発達段階に応じて、歌詞の意味からいのちについて考える取組にしました。



合唱は7月のいのちの教育週間の取組です。各教科でいのちについて考える取組を行っています。



高学年では、教材を活用し、今私たちにできることについて考え、望ましい生活習慣によりがんになる危険性を減らすことができることを学習しました。

参考資料
宮崎県版「がんに関する教育」指導参考資料
文部科学省「がん教育推進のための教材」



「いのちを大切にできる教育」をさらに推進するために！

全教育活動において、「いのち」に関連する場面があったら、各教科、特別活動など様々な機会を捉えて指導しましょう！
これまでも行ってきた「いのち」に係る取組を、改めて「いのちを大切にできる」という視点を持ち、意識的に行いましょう！
まずは、教師自身が「いのちの大切さ」を実感し、そのことを子どもたちに伝えていきましょう！

他にもいくつかの実践例を、教育ネットひむかのHPに掲載しています。
来年度の実践の参考にしてください！



事例6 仲間同士で支え合う活動
日向高等学校



一方向と双方向のコミュニケーション

気持ちを读む・聴く（ピア・サポート活動）

取組内容

人間関係を良好に保つために、自分のコミュニケーションの特徴の分析や積極的な話の聞き方、傾聴訓練を行いました。日常生活で使える技術を中心にワークショップ形式で指導を積み重ね、まとめとして、友人間で起こりうる課題に対する対処法や解決方法を身に付ける取組を行いました。

ピア・サポート活動とは、児童生徒が互いに思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育むための学習活動です。



事例8 生命の尊重
日向市立財光寺中学校



未来へ命をつなぐメッセージ

取組内容

自然災害、戦争や紛争、いじめや差別・偏見等から命がかけがえのないものであることを学習した後、東日本大震災復興支援曲「未来へつなぐメッセージ」を聴き、いのちについて考える機会としました。その後、ひとり一人が「未来へつなぐメッセージ」を書き、掲示することで、いのちの教育週間の啓発を行いました。

立ち止まって、友だちのメッセージを読んでいる様子が見られました。全校でいのちについて考える良い機会となりました。



事例7 性に関する教育
諸塚村立諸塚中学校



いのちを守る情報教育

取組内容

SNSの利用により、性に関するトラブルや犯罪に巻き込まれる危険性があることを知り、自分の身の守り方、相手を思いやる気持ちを育むことを目的として行いました。
身近なSNSの危険性を事例や動画を用いて考える活動を取り入れました。



事例や動画が効果的で、SNSの利用の仕方や自分の身の守り方について深く考えることができました。

事例9 SOSの出し方に関する教育
宮崎市立佐土原中学校



健康な心身

取組内容

関係機関と連携し、相談方法や悩みの解決方法について学習しました。コップいっぱい張った水を持ちながら歩くのは難しいけれど、別のコップに分けることで無理なく歩ける体験を通して、ストレスを解消することの大切さや相談することの大切さについて学習しました。



コップを使った体験で、周りの大人に相談したら、自分の心がすっきりすることが分かりました。また、悩みがある時には同級生にも相談してみようと思いました。そして、周りに元気のない子がいたら、積極的に声をかけてみようと思いました。
～生徒の授業後の感想より～